

令和6年 8月～9月議員活動・議会活動

(総務産業=総務産業常任委員会 文教厚生=文教厚生常任委員会)

10月

11日 臨時議会
12日 総務産業常任委員会
30日 議員派遣(清水町)
31日 臨時議会

11月

11日 文教厚生常任委員会
14日 総務産業常任委員会
19日 議会あり方調査特別委員会
20日 合同研修(森林組合)

12月

3日～10日 池田町議会12月定例会議 / 18日 広報紙発行特別委員会

片山よしひろ 意見交流会

目的 集まった考えや意見、声を元に、今後議会での訴えや取組に反映していく
誰でも OK!! 事前連絡による時間調整が必要。大通の後援会連絡所にて開催。

連絡方法

Facebook、後援会ウェブサイト、はがき、公式 LINE(@522ctnxd)、
大通連絡事務所(大通6丁目 さくら書房店舗内)に直接お越しいただいても OK!

大変申し訳ありませんが、下記の方法では承れません。

×後援会事務所(西1条9丁目)に直接お越しいただくこと。 ×お電話でのお問い合わせ

12月定例会 12月3日～10日(一般質問、決算審査)

議会の内容は直接議場で傍聴する他にも、YouTube 池田町議会チャンネルでの生中継や録画映像で視聴いただくこともできます。

一般質問の質問と答弁の抜粋 [詳細は後援会ウェブサイトにて!](#)

未来を見すえた町づくりを

- ☒ 池田高校が存続するための活動を推進します。
- ☒ 未来への投資の充実を訴え、子どもや子どもがいる家庭に向けた支援を推進します。
- ☒ 互いに助け合う地域社会づくりを推進します。

現在の取組内容

●進行中 △中断 ◇未着手

- | | |
|---------------|----------------|
| ●修学旅行費用の補助 | ●移住定住施策 |
| ●奨学金返還支援 | ●事業者支援 |
| ●多世代交流施設ふらっと | ●コンパクトシティ |
| ●重層的支援体制整備事業 | ●地域おこし協力隊予算 |
| ●定住促進住宅の拡充 | ●地域通貨の導入 |
| ●義務教育学校設置について | |
| ●森林環境譲与税の活用 | ...など81種(12月末) |

片山よしひろ後援会入会のご案内

会員種別 正会員(年会費12,000円) / 準会員(無料)
入会方法 (3通り)

①後援会ウェブサイト ②さくら書房大通店舗内で直接申込
③次の内容を記載後、後援会事務所に送付

(1)氏名 (2)氏名ふりがな (3)性別 (4)会員種別
(5)電話番号 (6)郵便番号 (7)住所



池田町議会チャンネル

1. 巡回期日前投票所の設置について

質問 池田町で行われた10月の議員補欠選挙では、投票率が45%(以前の議員選挙は70%台)と低く、改善が必要です。投票機会を増やすため、町内を巡回する期日前投票所の設置をすべきです。無料送迎バスの対応は効果が限定的で、憲法で保障された投票権を行使しやすい環境整備をさらに進める努力が必要です。

答弁(選挙管理委員会の委員長) 本町では期日前投票所が、現在1か所(社会福祉センター)のみ設置されており、高齢者など交通手段がない方々の投票機会を確保するため、コミュニティバスやスクールバスを活用して無料送迎を行っています。しかし、利用率は低い状況です。

「移動期日前投票所」は、公共施設を巡回する形式や、自宅まで出向くオンデマンド型があり、十勝管内では士幌町と大樹町が後者を導入しています。先行

事例から、事前申し込みや要件確認のほか、車両の確保、公職選挙法に基づく告示、現状でも大きな課題となっている事務事業者職員や立会人の増員などが必要です。また、悪天候や冬季の対応も課題です。投票率向上のための取り組みとして理解しつつも、課題が多い現状を踏まえ、他自治体の事例を参考に本町での導入の可否を検討、判断していきたいと考えています。

2. 部活動地域移行の広域化について

質問 池田町は単独で部活動の地域移行を進めていますが、近隣市町村との連携が必要だと考えます。他町村との協力を進め、部活動の体制を整えるお考えはありますか? 高齢化や人口減少の中、単独で環境を整えるのは難しく、広域化には準備期間も必要だと考えます。

(うらに続く)

片山よしひろ後援会
ウェブサイトはこちら→



池田町議会議員

片山 よしひろ

公式 LINE(@522ctnxd) や、Facebook や後援会
サイトからのメッセージでもお問い合わせ頂けます。
お電話でのお問い合わせは承れません。

「片山よしひろ後援会」事務所
〒083-0021 北海道中川郡池田町字西1条9丁目15番地の11
TEL 090-6265-3528 <https://ktym.info/>

一般質問の記録(抜粋)は、9割以上の内容を削っています。詳しい内容は、片山よしひろ後援会ウェブサイトをご確認ください

答弁(教育長) 池田町では、少子化や働き方改革の進展により、従来の部活動運営が難しいと認識しています。昨年度、「池田町学校部活動地域移行検討協議会」を設置し、指導者確保や広域化について協議を進めています。今年度は「IKEDA TRACK CLUB」を設立し、他町と合同の部活動には移動支援を実施中です。また、当教育委員会から要請し近隣町との協議も開始しており、地域人材の確保や体制整備に取り組んでいます。課題は多いですが、先進事例を参考に、子どもたちが活動を続けられる環境を整えていきます。

再質問 近隣町との協議はどの町と進めており、現状どれくらい進んでいるのでしょうか？

再答弁(教育長) 池田町を含む4町と協議を進めており、情報共有や課題の確認を行っています。財源や指導者確保、移動手段といった課題が挙げられています。協議を継続しながら解決策を模索していきます。

再質問 情報共有だけで終わらず、4町で取組を進める必要があります。広域化について、国の示す3年間のスケジュールで進めるお考えですか、長期的な計画でしょうか？

再答弁(教育長) 部活動の地域移行は国のガイドラインで令和7年度までとされていますが、期間延長の案も検討されています。広域化については、関係町と協議を重ねながら、その期間の中で図られていくかどうか十分協議を重ねていきたいと考えています。

3. 池田高等学校支援で学級減後の善後策について

質問 来年度、池田高校の募集が1学級に減少することで、職員数の減少が予想されます。これに対し、池田町として事務職員や授業支援の先生など、人員面での支援を行う考えはありますか？教職員の負担軽減

や、総合学科の特色を活かした専門教育の充実には、町内外から専門知識を持つ方々の協力が必要です。

答弁(町長) 池田高校は少子化の影響で学級数が減少し、令和7年度から1学級となることが決定しました。教職員数も減少していますが、本年度は10名を超える会計年度任用職員により、専門知識を有する民間講師としての授業も行われています。また、町が任用した高校魅力化推進員の存在は授業や広報活動、生徒募集、キャリア教育を支援につながっています。協力隊員は学校と地域をつなぎ、教職員の業務負担軽減にも役立っています。

池田高校は町にとって重要な役割を果たす存在です。今後も生徒確保や教育環境の維持に向けた取り組みを続けるとともに、教職員の負担軽減に繋がる支援を進めていきます。

4. 地域おこし協力隊予算の柔軟化について

質問 地域おこし協力隊の予算を柔軟に活用することで、協力隊の活動環境を整え、定住や起業を促進できると考えます。例えば、活動期間中に購入した備品を貸与や譲渡できる仕組みがあれば、隊員が安心して活動しやすくなり、町で活動する魅力も高まるのではないのでしょうか。

答弁(町長) 地域おこし協力隊は、地域活性化や定住促進に大きな役割を果たしています。本町では、予算の使途に柔軟性を持たせるため、活動内容に応じて補正予算などでも対応しています。一方で、備品の譲渡は公平性の観点から難しいですが、貸与については他の自治体の事例を参考に検討したいと思います。

次回定例会では令和7年度の予算審査が行われます。町内で頂いた声をもとに下記の2点について一般質問を行っています。実現すると良いのですが...

- ☒ 修学旅行費用の補助(小・中学校 / R6.6月)
- ☒ 奨学金返還助成金(R6.9月)

ここ！シリーズ 21 ～ペーパーレス化～ (R5.9月一般質問)

先日議会議員用タブレットが配られました。過去の資料の確認や、これまでの流れを抑えた準備や活動もしやすくなりました。

片山よしひろ後援会ウェブサイトはこちら→



池田町議会議員

片山 よしひろ

公式LINE(@522ctnxxg)や、Facebookや後援会サイトからのメッセージでもお問い合わせ頂けます。お電話でのお問い合わせは承れません。

「片山よしひろ後援会」事務所

〒083-0021 北海道中川郡池田町字西1条9丁目15番地の11

TEL 090-6265-3528 <https://ktym.info/>